

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ふいーる
------	------

公表日 令和 7年 2月 1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		・基準を満たしている ・限られたスペースで各コーナーのスペースを作っている	限られたスペースは、意図的にスペースを区切って活動を行っています。広すぎる場所で園児が戸惑い、他に見えるものや聞こえるものに対して過度に注意がそれてしまうことは避けたいと考えています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		・基準を満たしている ・基準に沿って人数配置の調整、職員の急なお休み等時間調整で対応	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		・視覚支援を多く取り入れている ・各コーナーに分かれていて子どもたちにはわかりやすいと思う、スケジュールやカレンダーや手順書などで伝えている ・活動に応じて場所を決める、構造化やパーテーションで子どもが生活しやすい環境作りを心掛けている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		・心掛けている ・掃除は毎日している、おもちゃやカード等毎日消毒している ・細かい所の掃除が毎日ではできていないのでもう少し細目できるといい ・毎日の掃除や消毒を行う、定期的にエアコン等の大掃除を行うが細かい所は難しい場合があります	建物自体が古く、住宅を改装しています。リフォームをして療育に活用できるスペースに変えています。バリアフリーなどの視点から見ると厳しい点があると思います。また、破損箇所も目立つようになってきましたので計画的に修繕を進めたいと考えています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		・個室が用意されている ・部屋遊びでは衝立やテーブルを使用してその子に応じてスペースを作っている ・個別課題の部屋、クールダウン等のため別室を利用し常に見守る	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		・職員会議で場を設けている ・常に考えている ・常に話し合いをしている	業務改善に当たり、PDCAという枠を活用しているわけではないが、問題、課題発生の際に会議で速やかに検討されるようになっている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・わかりません ・会議で話している、必要に応じて面談をしている	毎年、保護者向け評価表の結果は職員で共有し、改善すべきことは早めに取り組めるよう心がけている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・職員会議で話し合っている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1	・わかりません	第三者評価は実施しておりません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		・研修の機会がある ・zoomなどを活用し研修に参加させていただいてます、園内研修も行っています	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		・個別の支援プログラムがある	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		・面談などでニーズを把握し作成している ・保護者にニーズを書いて提出してもらい新年度前に面談を行い作成している ・子どもの様子や保護者のニーズを定期的に伺い作成している	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		・職員同士で話し合っている ・計画案を立て会議をして職員で意見交換をしている	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		・必ず計画書を確認している	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		・日々の出来事話し合っている ・スキルチェックを保護者にももらったりKIDSを記入してもらい子どもの様子を確認している ・全員同様取り組んでいる	標準化された評価については、「KIDS」を入園児につけ、入園後は定期的に事業所独自のチェック表でインフォーマルな評価を実施している。

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		・子どもの姿を基準に設定されている	児童発達支援管理責任者を中心として、「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域支援」等設定している。また、5領域の支援目標についても児童発達支援ガイドラインを参考に作成している。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		・月案会議を設けている ・月案会議を行っている、職員間でアイデアを出し合い作成している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		・月案会議で話し合っている ・固定しないようにしているが、積み重ねが必要な活動もあるので職員で確認している ・固定化して毎月の継続、連続性を重視する活動や新しい活動も折り返しながら工夫する	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		・子どもの状況について話をしている ・活動を集団で行ったり個別で行ったりしている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		・毎朝声をかけ合いを確認している ・必要事項1日の流れは伝えるようにしている ・毎朝1日に流れを確認、緊急時などその都度、情報共有し対応	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		・気づいた時点で共有している ・気づいた点は伝え合い共通理解をしている ・毎日行い次の活動などの取り組み方など相談している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		・日々の記録を記入し話している ・記録は細かく記入している ・日々の記録や特別なことなど必ず記録している	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		・モニタリング期間を設けている ・ケース会議を1人年4回行っている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		・担当や児童発達支援管理責任者が参画している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		・わかりません ・利用児の保育園、幼稚園に訪問し連携して支援している	地域の幼稚園・保育園・こども園との協力支援体制は少しずつ整えることができていると思う。日常的なやり取りも必要に応じて行っている。医療も地域のクリニックへ事業のお知らせをしたりすることもある。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		・併用先と情報の共有を行っている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		・書面や電話で対応している ・保護者の承諾を得て子どもの様子を伝えている	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	-	-		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。	-	-		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	-	-		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5		・わかりません	児童発達支援センターつくし園の療育プログラムを当事業所でも実践している。日常的に療育技術的なこと、クラス、事業所運営に関する助言を受けることができる。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	・わかりません ・ふいーるでは交流はしていないがつくし園の施設を使わせていただき活動する日がある	現在、実施していません。「活動」の目的をどのように設定するか、当事業所の園児たちにとって非常に配慮を要する部分であると考えています。今後継続して検討したいと思います。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		・連絡ノートでやりとりしている		

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	・わかりません ・個別で必要に応じて面談等を行っている	ペアレントトレーニングをプログラムとして取り入れていません。ただ、普段の支援目標の設定、実施、評価を保護者の方と一緒に進めていくことが最大のペアレントトレーニングだと思っています。具体的な生活場面で生じることについて、具体的にどのように取り組むか、それを通じて一人ひとりのお子さんの特徴の理解につながってほしいと思っています。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		・直接お話をしている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		・面談などで確認をしている	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		・直接説明をしている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		・定期的に面談を行っている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	4	・わかりません ・保護者会はないため	保護者会、父母会は、進め方にもよるのでしようけれど、保護者の負担が大きい場合があり、実際に数年前につくし園の保護者会から申し出を受けたことがあります。会を発足させる、開催するということを考えておりませんが、交流の機会は設けられればと考えています。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		・すぐに対応している ・常に面談できることを保護者に伝えている ・園長先生に相談、報告をし慌てずに返事をする ・面談日を設けてじっくりと対応できるようにしている	相談も申し出があれば、速やかに対応します。また、相談の申し出に至る前に、日頃からコミュニケーションを図るために、年4回のケース会議の後に保護者に園にお越しただいて、状況の確認、支援目標の進捗の確認、家庭内での困りごとなどをお聞きする体制を整備している。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		・ブログや活動の手紙を出している ・ブログで活動の様子を伝えている	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		・持ち出しや関係者以外に話しをしない ・個人ファイルに保管、ブログに子どもの顔や特定できないように注意している	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		・伝え方について職員で話しをしている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	・わかりません	ボランティアなどの受け入れを通じて、施設の理解、通園児の理解等を地域に向けて発信できればと考えています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		・マニュアルの確認をし避難訓練を月に1度行っている	各種マニュアルは整備しておりますが、利用者への周知が遅れています。訓練、研修は法人施設つくし園と合同で開催したり、当事業所で開催したりしています。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		・BCPの訓練を定期的に行っている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		・熱性けいれんの子供の対応について個別でマニュアルを作成している ・初回面接で確認している ・保護者や医療機関から情報をもらい緊急対応に備えている	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		・対応をしている ・医師による判断とアレルギーの表を作成してもらっている	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		・定期的に見直しをしている	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		・みずなネットなどを利用している	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		・事故報告書を作成している ・事故報告書を記入し回覧をしている	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		・委員会を設け研修も受けている ・園内研修を行っている ・zoomを使用しつくし園ふーる合同でBCPや委員会の機会を作り取り組んでいる		

53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		・会議などで話し合いをしている	
----	--	---	--	-----------------	--